

コメデイカル育成支援事業費
補助金交付要綱

コメディカル育成支援事業費補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 知事は、富士・東部地域におけるコメディカルの定着確保及びコメディカルのスキルアップによる医師の負担軽減を図ることを目的として、コメディカルの育成に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付するものとし、その交付に関しては、山梨県補助金等交付規則（昭和38年山梨県規則第25号）に規定するもののほか、この要綱の定めるところによる。

(補助金の交付の対象となる経費及びその補助率)

第2条 前条に規定する事業に対する補助率又は補助額は、別表第2欄に定める対象経費の実支出額と、総事業費から寄付金その他の収入額を控除した額とを比較して少ない方の額を選定し、別表第3欄に定める補助率を乗じて得た額とする。ただし、算定された額に1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。

(補助金交付申請書及び添付書類の様式、提出期限)

第3条 補助事業者は、知事が指示する日までに補助金交付申請書（様式第1号）に係る書類等を添えて、知事に提出しなければならない。

2 補助事業者は、前項の申請書を提出するにあたって、当該補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額（補助対象経費に含まれる消費税及び地方消費税相当額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）の規定により仕入に係る消費税額として控除できる部分の金額及び当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）の規定による地方消費税の税率を乗じて得た金額の合計額に補助率を乗じて得た金額をいう。以下同じ。）を減額して交付申請しなければならない。

ただし、申請時において当該消費税及び地方消費税に係る消費税仕入控除税額が明らかでないものについては、この限りではない。

(補助金の交付の条件)

第4条 補助金交付の条件は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 補助事業の内容の変更をしようとするときは、事業変更承認申請書（様式第2号）を提出し、知事の承認を受けること。ただし、補助事業の目的の達成に支障をきたさない事業計画の細部の変更であって、交付決定を受けた補助金の額の増額を伴わない場合はこの限りではない。

(2) 補助事業を中止又は廃止しようとするときは、事業（中止・廃止）承認申請書（様式第3号）を提出し、知事の承認を受けること。

(3) 補助事業が予定期間内に完了する見込みのない場合又は補助事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに知事に報告してその指示を受けること。

- (4) 事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意をもって管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。
- (5) 知事は、第3条第2項により補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額について減額して交付申請がなされたものについては、これを審査し、適当と認めるときは、当該消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額を減額して交付決定するものとする。
- (6) 知事は、第3条第2項ただし書による交付申請がなされたものについては、補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額について、補助金の額の確定において減額を行うこととし、その旨の条件を付して交付決定を行うものとする。

(実績報告書の様式、提出期限)

- 第5条 補助事業者は、当該事業が完了した日若しくは廃止の承認を受けた日から起算して1箇月を経過した日又は交付決定をした年度の翌年度の4月10日のいずれか早い期日までに、事業実績報告書（様式第4号）に必要関係書類を添え、知事に提出しなければならない。
- 2 補助事業者は、前項の実績報告を行うにあたって、補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額が明らかな場合には、当該消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額を減額して報告しなければならない。

(補助金の交付方法)

- 第6条 補助金の交付は精算払いとする。

(財産の処分の制限)

- 第7条 補助事業者は、補助事業により取得し、又は効用の増加した不動産及びその従物並びに補助事業により取得し、又は効用の増加した機械及び器具（以下「取得財産等」という。）については、知事が補助金交付の目的及び減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）を勘案して別に定める期間（以下「財産処分制限期間」という。）を経過するまでは、知事の承認を受けないで、取得財産等を補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、又は担保に供してはならない。
- 2 補助事業者は、前項の承認を受けようとする場合は、財産処分承認申請書（様式第5号）を知事に提出し、その承認を受けなければならない。
 - 3 知事は、第1項の承認をしようとする場合において、原則として交付した補助金のうち取得財産等を補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、又は担保に供した時から財産処分制限期間が経過するまでの期間に相当する分を返還させるものとする。

(書類の保管)

第8条 補助事業に係る帳簿及び証拠書類は、当該補助事業終了の年度の翌年度から起算して5年間、整備保管しておかなければならない。

(消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額の確定に伴う補助金の返還)

第9条 補助事業者は、補助事業完了後に申告により補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額が確定した場合には、様式第6号により速やかに、知事に報告しなければならない。

2 知事は、前項の報告があった場合には、当該消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額の全部又は一部の返還を命ずるものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は知事が定める。

附 則

1 この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

2 この要綱は、平成26年3月31日限り、その効力を失う。ただし、この要綱に基づき交付された補助金については、この要綱の失効後もなおその効力を有する。

別 表

1 対象病院	2 対 象 経 費	3 補 助 率
富士吉田市立病院	<p>コメディカルの育成に係る次の経費</p> <p>(1) 合同研修会及び院内研修会開催経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師に対する謝礼及び交通費 ・委託料 ・会場使用料 ・その他事務経費 <p>(2) 院外研修会等参加費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議参加費（受講料、負担金等） ・旅費 <p>(3) 研修プログラム作成費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金 ・委託料 ・その他事務経費 <p>(4) 研修機器・研修備品購入費</p>	10 / 10
山梨赤十字病院		
都留市立病院		
大月市立中央病院		
上野原市立病院		

(様式第1号)

第 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

所在地
団体名
代表者名 印

コメディカル育成支援事業費補助金交付申請書

このことについて、コメディカル育成支援事業を別紙計画書のとおり実施したいので、コメディカル育成支援事業費補助金交付要綱第3条第1項の規定により、次のとおり申請します。

1 補助金申請額 金 円

2 添付書類

- (1) 経費所要額調書 (様式第1号の1)
- (2) 事業計画書 (様式第1号の2)
- (3) 収支予算書
- (4) その他参考となる書類
 - ・ 整備機器の仕様書 等

(様式第2号)

第 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

所在地
団体名
代表者名 印

コメディカル育成支援事業費補助金事業変更承認申請書

平成 年 月 日付け医第 号で交付決定のあったコメディカル育成支援事業費補助金について次のとおり変更したいので、コメディカル育成支援事業費補助金交付要綱第4条第1項第1号の規定により、関係書類を添えて申請します。

1 変更理由

2 変更内容

(様式第3号)

第 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

所在地
団体名
代表者名 印

コメディカル育成支援事業費補助金事業（中止・廃止）承認申請書

平成 年 月 日付け医第 号で交付決定のあったコメディカル育成支援事業費補助金について次のとおり（中止・廃止）したいので、コメディカル育成支援事業費補助金交付要綱第4条第1項第2号の規定により、関係書類を添えて申請します。

1 （中止・廃止）理由

2 （中止・廃止）内容

(様式第4号)

第 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

所在地
団体名
代表者名 印

コメディカル育成支援事業費補助金事業実績報告書

平成 年 月 日付け医第 号で交付決定のあったコメディカル育成支援事業費補助金の対象事業を完了したので、コメディカル育成支援事業費補助金交付要綱第5条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

- 1 補助金精算額 金 円
- 2 経費所要額精算書（様式第4号の1）
- 3 事業実績報告書（様式第4号の2）
- 4 添付書類
 - (1) 収支決算(見込)書
 - (2) 補助対象事業の実績を示す写真
 - (3) 契約書の写し
 - (4) その他参考となるべき資料

(様式第 5 号)

第 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

所在地
団体名
代表者名 印

財産処分承認申請書

コメディカル育成支援事業費補助金に係る補助事業により取得した財産を、次のとおり処分したいので、コメディカル育成支援事業費補助金交付要綱第 7 条第 2 項に基づき、申請します。

- 1 処分しようとする財産の明細
- 2 処分の内容
- 3 処分しようとする理由
- 4 その他必要な書類

(様式第 6 号)

第 号
平成 年 月 日

山梨県知事 殿

所在地
団体名
代表者名 印

平成 年度消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額報告書

平成 年 月 日付け医第 号で交付決定のあったコメディカル育成支援事業費補助金について、消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額が確定したので、コメディカル育成支援事業費補助金交付要綱第 9 条第 1 項に基づき、次のとおり報告します。

1 事業実績報告額

金 円

2 消費税及び地方消費税の申告により確定した消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額

金 円

3 添付書類

- ・消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額算出書（別紙）
- ・消費税及び地方消費税確定申告書
- ・その他参考となる書類

(別紙)

消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額算出書

1 補助事業者

2 補助事業者の所在地

3 補助事業名

4 県補助金確定額

5 概要

(1) 課税売上割合

(2) 仕入控除税額

(様式第1号の1)

経費所要額調書

(補助事業者名)

(単位：円)

総事業費 (A)	寄付金その 他の収入額 (B)	差引額 (A)-(B) (C)	対象経費の 支出予定額 (D)	選定額 (E)	県補助所要額 (F)	備考
合計						

- (注) 1 「総事業費」欄には、当該事業に係る総事業費を記入すること。
2 「対象経費の支出予定額」欄には、要綱別表第2欄に定める対象経費の実支出額を記入すること。
3 「選定額」欄には、(C)と(D)を比較して最も少ない額を記入すること。
4 「県補助所要額」欄には、(E)に記載された額に要綱別表第3欄に定める補助率を乗じて得た額を記入すること。ただし、算出された額に1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。

(様式第1号の2)

事業計画書

平成 年度事業	所要見込額		
<事業別内訳>			
1 合同研修会開催経費	所要見込額		
研修会名			
研修概要			
経費の内訳			
2 院内研修会開催経費	所要見込額		
研修会名			
研修概要			
経費の内訳			
3 院外研修会等参加経費	所要見込額		
研修会等の名称	主催者	参加予定人数	所要経費
4 研修プログラム作成経費	所要見込額		
プログラム概要			
経費の内訳			
5 研修機器・研修備品購入費	所要見込額		
機器等の名称	用途	数量	所要経費

(様式第4号の1)

経費所要額精算書

(補助事業者名)

(単位：円)

総事業費 (A)	寄付金その他の 収入額 (B)	差引額 (A)-(B) (C)	対象経費 の支出額 (D)	選定額 (E)	県補助 所要額 (F)	県補助交付決 定額 (G)	県補助 受入済額 (H)	過不足額 (F)-(H) (I)
合計								

- (注) 1 「総事業費」欄には、当該事業に係る総事業費を記入すること。
- 2 「対象経費の支出予定額」欄には、要綱別表第2欄に定める対象経費の実支出額を記入すること。
- 3 「選定額」欄には、(C)と(D)を比較して最も少ない額を記入すること。
- 4 「県補助所要額」欄には、(E)に記載された額に要綱別表第3欄に定める補助率を乗じて得た額を記入すること。ただし、算出された額に1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。

(様式第4号の2)

事業実績報告書

平成 年度事業		事業実績総額	
<事業別内訳>			
1 合同研修会開催経費		実績額	
研修会名			
研修概要			
経費の内訳			
2 院内研修会開催経費		実績額	
研修会名			
研修概要			
経費の内訳			
3 院外研修会等参加経費		実績額	
研修会等の名称	主催者	参加予定人数	経費の内訳
4 研修プログラム作成経費		実績額	
プログラム概要			
経費の内訳			
5 研修機器・研修備品購入費		実績額	
機器等の名称	用途	数量	金額

